

オホーツクの風

平成22年7月6日(火) 0002号

発行所

北見赤十字病院の
明日を考え支援する会
事務局

北見市緑ヶ丘1-10-16

Tel 0157-61-0684

日赤の現状を知る

財政支援(単年度決算)について

何年前か前までは全国的に高額納税者が発表され、北見地方でもお医者様は常に上位を占めていた。「医者は儲かる仕事」とは誰もが思うことでした。しかし、北見赤十字病院(以下北見日赤)においては、北見市に財政支援を要望している。このように新聞やテレビなどの報道を見聞きすると、『北見日赤病院の赤字穴埋めに北見市の補正予算数億』などとあり、そのお金は私達の市民税が使われていると解釈している。

替えてもらって国に申請するとお金が入る仕組みである。

- ① 財政支援とは
過疎地など「不採算地区病院」
- ② 小児救急医療・周産期母子医療・救命救急医療など「不採算部門」のある病院

小児救急医療や総合周産期母子医療センター、救命救急センターの3部門が一番お金がかかる所である

儲かる病院と赤字になり儲からない病院との違いはどこから生まれるのか現状を探りたい。

国(総務省)は公立病院と同等の医療機能を担う公的病院等(北見日赤も対象)に、公

病院長のことから健康な人、若い人に関心を持っていただくのにも知れませんが、北見日赤病院の

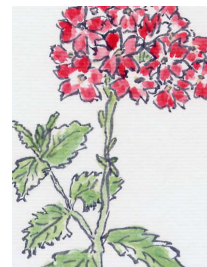
が、人の命と直接係わる大切な現場である。はからずもこの三月、救命救急にお世話を受けながら、後一日遅かったらだめだったとか、北見日赤がなかったら今頃命がなかったなど、救命救急の恩恵を受けた沢山の人が、北見市だけではなく紋別市・佐呂間

町・美幌町・訓子府町とオホーツク圏の人も数多くいた。小児救急医療、総合周産期母子医療センターも、両親が安心して子供を生み育てるためにはなくてはならないところである。

町・美幌町・訓子府町とオホーツク圏の人も数多くいた。小児救急医療、総合周産期母子医療センターも、両親が安心して子供を生み育てるためにはなくてはならないところである。

感謝と応援と!

代表 谷川 勝男



町・美幌町・訓子府町とオホーツク圏の人も数多くいた。小児救急医療、総合周産期母子医療センターも、両親が安心して子供を生み育てるためにはなくてはならないところである。

が、人の命と直接係わる大切な現場である。はからずもこの三月、救命救急にお世話を受けながら、後一日遅かったらだめだったとか、北見日赤がなかったら今頃命がなかったなど、救命救急の恩恵を受けた沢山の人が、北見市だけではなく紋別市・佐呂間町・美幌町・訓子府町とオホーツク圏の人も数多くいた。小児救急医療、総合周産期母子医療センターも、両親が安心して子供を生み育てるためにはなくてはならないところである。